

校長室通信

平成24年度 第14号

下野市立南河内第二中学校

発行者 横島 清

H24.9.24

1 部活動 新チームの目標・抱負・やる気・がんばり・その2

第13号でお伝えできなかった部活動について記載しました。

陸上部

陸上部は、“一走入魂”をモットーに大会に向けて練習に励んでいます。毎日のきつい練習も全力で取り組み、励まし合いながら頑張っています。今後の目標は、部員全員が悔いの残らない練習をし、その成果を大会で発揮することです。3年生の先輩方は、今まで素晴らしい結果を残してきました。僕たちもそれに負けないよう毎日の練習を大切に、2年生が中心となって部を盛り上げていきたいと思っています。

サッカー部

僕たちサッカー部は「生活＝サッカー」という言葉のもと、サッカーをしています。なので、サッカーがうまくいかないときには、しっかりと生活を見直し、改善することから始めていきたいです。また、3年生がいた頃の練習と今の練習を比べると、雰囲気あまりつくれていないと感じます。なので、雰囲気のいい練習という二中サッカー部の伝統を引き継ぐという気持ちを部員全員で持ち、良い練習をして大会で結果を残していけるようにしたいです。

野球部

僕たち野球部は、県大会ベスト4を目指して練習しています。去年の先輩たちもベスト4を目標としていましたが、あと1勝でベスト4というところで惜しくも負けてしまい引退となってしまいました。今年は、先輩たち以上のことをやって絶対に達成したいです。また、今年は、特に1年生の部員数が少ないので1年生にしっかりと指示を出し、そして、僕たち2年生もグラウンド作りや道具運びなどを素早くやることで人数の少なさをカバーしたいです。

硬式テニス

僕たち硬式テニス部は、関東大会出場という目標に向かって、日々練習に取り組んでいます。今年から、新しい練習を取り入れたり、1年生にはフォームなどをていねいに教えてあげたり、去年の問題点を改善したり、色々なことに努力して部活に取り組んでいます。去年の先輩の方々は、3大会全て関東に行っているの、その伝統を受け継いで一日一日の練習を大切に、関東に行きたいと思っています。

吹奏楽部

私たち吹奏楽部は、あと2ヶ月間ほど3年生と一緒に活動します。しかし、今までのように先輩を頼ってはいけなと思っています。今までは、何をするときにも先輩が先頭にたって、私たちを引っばってくださいました。でも、先輩が引退すれば、私たち2年生がこの吹奏楽部を引っばっていかなければなりません。だから私は、先輩がいるからと言って甘えず、二中の吹奏楽部の伝統を引き継げるように、今日から心を切り替えて、先輩と活動できる2ヶ月間を大切に過ごしていきたいです。また、今まで先輩に頼ってきた分をこれからの部活動で挽回できるように、今までよりも一生懸命に活動していきたいです。

美術

私たち美術部は、引退した先輩方が考えた“部員全員がコンクールで入賞する”という目標のもと、より完成度の高い絵を描くため日々努力していきたいと考えています。また、今は二中祭に向け、個人作品を創っているの、部員全員が集中して作品づくりに取り組めるように、部長として頑張りたいと思います。部員みんなで1枚の巨大絵を描く時期もそろそろなので、部員5人で協力し、皆さんがあっと驚くような巨大画を二中祭で展示できたらいいなと考えています。見た人が思わず笑顔になれるような絵を描ける美術部にしていきたいです。

情報科学部

情報科学部は、現在先輩が引退し、1年生もいませんが、コンピューターの操作をしたり、ペットボトルロケットやスライム作りをしたり色々なことに取り組んでいます。興味のある人は、気楽に部活を見学に来てください。活動場所は、パソコン室か技術室です。



2 期末テスト終了

9月13日に、期末テストが終了しました。夏休み前から範囲表に従ってしっかり取り組んだ結果が出ていることと思います。3年生にとっては、進路を意識した大切なテストでした。1・2年生にとっては、自分の学習を点検するよい機会となりました。順位や点数のみに囚われず、どうしてそのようになったか（良くても悪くても）取り組む意欲・姿勢、計画の立て方、継続して出来たかなど、点検し改善する必要があります。学生の本分は、勉強して学力をつけることです。授業や必要な家庭学習をおろそかにすることがあってはなりません。家族とともに、しっかり自分を見つめてみましょう。

3 2学年・3学年で学年PTA実施

第2学年PTA

9月6日の総合の時間の、親子ダンス教室に参加しました。中村伸俊先生から、EXILEのchoo choo TRAINにあわせダンスの基礎を楽しく学ぶことが出来ました。学年PTAの皆様には大変お世話になりました。



花束の贈呈

第3学年PTA

9月14日の総合の時間の、スポーツインストラクター講演会に参加しました。山口敬志先生からコアトレーニングと、世界の旅のお話を楽しくうかがうことが出来ました。学年PTAの皆様には大変お世話になりました。



コアトレーニング

4 実践して欲しい大切に思うこと（9月19日の朝会より）

生徒たちには、不断から機会があるたびに「笑顔あふれる爽やかなあいさつ」を呼びかけています。それは、「あいさつ」とは相手を一人の人間として認める行為であり、これから一緒に頑張ろう仲間だよ、と言うメッセージであり、生活していく上での潤滑油として最も大切にしたいものと考えているからです。

朝会で話した作家・吉川英治氏の人生について書かれた文章から引用したことばを記載します。

「この人生は旅である。その旅は片道切符の旅である。往きはあるが帰りは無い。我々はこの旅において、さまざまな人と道中道連れになる。それらの人々と、楽しくスムーズにやっていくには、“人生のパスポート”が大切である。それがお辞儀とあいさつである。

きちんとしたお辞儀とは、相手の目を見つめ、目と目を合わせたお辞儀でこれをフシのあるお辞儀という。すると相手にいい印象を与え、話がはずむ。そしたら、相手の目を見て話をし、相手の目を見て話を聞く。「人生は目と目の対決である」という。

あいさつとは、名前を呼ばれたら「はい」と答え、あとは、「おはよう」「こんにちは」「すみません」「さようなら」の言葉を習慣化することである。さらに、あいさつとは「心を開いて相手に迫るということです。すると、相手も心を開いてこちらに迫ってくる。そこから心と心の交流が始まる。」と述べています。

5 スズメバチに注意

先日、校長室での会議中に、スズメバチが入ってきました。教頭先生が、ハチジェットで退治してくれました。これからの季節は、スズメバチが一番攻撃的になる時期です。スズメバチの被害に遭わないように注意が必要です。以下の点に気をつけて生活しましょう。

- (1) 黒い衣類は出来るだけ避ける（ハチは黒い部分を刺します。特に頭を守るために帽子が必要です）。
- (2) スズメバチの巣を見つけたら近寄らない（駆除を依頼する）。
- (3) 周囲を飛び回って羽音を出しているときは、近くに巣があるので威嚇しています。身を低くし静かにゆっくり立ち去る。
- (4) 手で追い払うことはしない（攻撃と認識し襲ってくる、一度刺すとたくさん寄ってくるので注意）。
- (5) 野山に出かけるときは香水をつけない（香水の匂いは警戒物質と同じで呼び寄せる）。
- (6) ハチの死骸は直接手で触らない（死んでいても毒針が出て刺されることがある）。

※もし、万が一刺されてしまったら、

患部を流水につけ毒を絞り出し（口で吸ってはいけない）、抗ヒスタミン軟膏を塗る。氷水などで冷やして様子を見る。心配な場合は病院へ行く。

（アンモニア系の薬品は効きません、また、虫除けスプレーはハチには効果がありません）

ちょっと嬉しい話

田んぼでは、稲刈りが進み、多くの赤トンボが避暑を終え山から下りてくる季節です。稲穂が刈り取られたあとの田んぼと夕焼け空、そして、多くの赤トンボが舞っている風景は何となく郷愁をさそり秋の深まりを感じます。

また、今年の十五夜は9月30日です。9月最後の日曜日になります。柿の実や栗の実も色付いてきてススキもちらぼら穂が出てきました。秋の夜長の虫の音もなかなかの風情であります。

虫の音は音楽か雑音か

鈴虫の姿見えずに鳴き明かすかつて読んだ本の中に、「日本人は虫の鳴き声を心地よく感じるが、西洋人には雑音でしかない。」という行りがあった。本校のALTトープ先生に確かめてみたところ、やはり雑音とのことでした。

